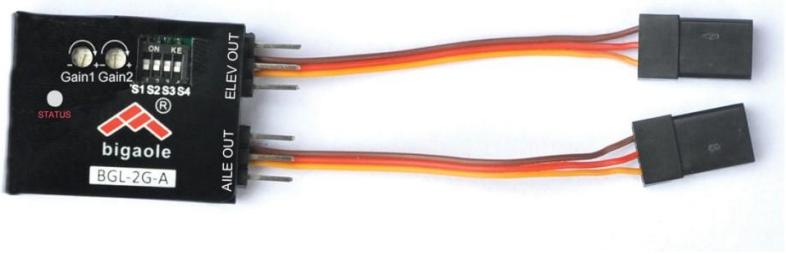
Bigaole　2G-A ジャイロ取扱説明書（ラジコン1和訳）

1、スペック

サイズ：28*20*5mm
重量：6g
作業電圧：DC3.5～9V
作業電流：20mA
作業環境温度：-15℃～65℃
最大角スピード：800 度/秒
適用サーボ：1.52ms ノーマルサーボ、1.52ms デジタルサーボ
適用送信機：PPM、PCM、2.4G

2、機能とインタフェース

①AILE IN は受信機のエルロンに繋ぎ、ELEV　IN はエレベータチャンネルに繋ぎます。
②AILE OUT はエルロンサーボに繋ぎ、ELEV　OUT はエレベータサーボに繋ぎます。
※注意：表側　OUTと裏側　INはELEV，EILEが逆になっています。
③G1 はエレベータ、G2 はエルロンのジャイロの感度を調整します。
④S1　は模型タイプの選択です。下向きは普通飛行で、上向きは混合機能の飛行機(Flying　wing＆Delta)です。
⑤S2 は飛行モードの選択です。下向きは初心者モードで、上向きはプロモードです。
⑥S3 はエレベータの回転方向スイッチです。下向きは時計回り、上向きは反時計回りです。
⑦S4 はエルロンの回転方向スイッチです。下向きは時計回り、上向きは反時計回りです。



指示ランプ

①通電後、赤ランプがフラッシュ、ジャイロが初期化に入ります。その時、ジャイロを必ず動かなく、スティックが中位に戻ります。
②通電後、赤ランプが通常点灯、フラッシュしません。サーボが動けない場合はジャイロが受信機の信号を狙っていません。
③赤ランプずっとフラッシュ、ジャイロの初期化がミスになる場合は必ずジャイロを静態に、スティックも中位に戻ります。改めて、初期化を行います。
④通電後、赤ランプがフラッシュ、それから通常点灯になる場合は正常作業と表示しています。

ジャイロの取付

ジャイロを柔らかい両面テープで水平の位置に取り付けます。出来る限り、モーターと電子製品に近づかないでください。

ラジコン1

送信機設定

送信機を開いて、新しいモデルを作ります。すべてチャンネルの微調値(Trim)と内部の微調値(Sub-trim)を 0 に設定します。又、ミキシング等すべてOffを確認します。

ジャイロ設定

① ジャイロを受信機とサーボに繋ぎます。
② S1 で飛行機のタイプを選びます。
③ S2 で飛行モードを選びます。
④ 飛行機を持って、エレベータが下へ、飛行機が横に、エルロンが逆方向に回します。舵面の方向が正しいかご確認ください。そうでなければ、S3 と S4 でサーボ方向を調整してください。
⑤ エルロンとエレベータのスティックを動いて、舵面の動作方向が正しいかご確認ください。
そうでなければ、S3 と S4 でサーボ方向を調整してください。
⑥ G1、G2 の感度’に設定します。送信機のスティックが中位に戻ります。舵面が水平になるようにサーボアームの位置とサーボロードの長さを調整します。
⑦ G1、G2 の感度を中間位置に調整して、飛行機を持って、舵面のフィードバックが正しいかにエレベータが下へ、飛行機が横に回転してテストします。

●良くある質問

Q1 飛行機がハンチング状態で細かく振動
A）G1，G2を低く調整します。

Q2 飛行機が不規則に動きます。
A）飛行機のエンジンと機体が大きく振動しているかごチェックください。振動が下げるため、柔らかい両面テープでジャイロを取り付けます。

Q3 飛行機が全くコントロールできません。離陸すると、横へ向き、又は後ろへ向きます。
A）ジャイロの 2 軸のフィードバックの方向が正しいかどうかごチェックください。
エルロン、エレベータのスティックで作動の方向をテストします。

Q4 飛行機がゆっくり、片面の方向へ回転します。
A）舵面の取付が水平になっているか、サーボの中立点をごチェックください。
改めて、ジャイロを初期化にします。

ジャイロの初期化について

ジャイロを通電してから、数秒後、初期化を行います。初期化の時はジャイロを必ず平面に固定して、スティックも動かしません。赤ランプが早くフラッシュしたら、初期化完了です。
エルロンとエレベータが各一回動きます。初期化完了、飛行状態になると表示します。
初期化後、赤ランプが続けてフラッシュの場合はジャイロの初期化がミスになっています。